

令和2年度 佐伯教育事務所管内 第3回地域授業改善協議会

発表②: 中学校

**学校マネジメントの深化に向けた
短期及び年度を跨いだ検証・改善の取組**

佐伯市立宇目緑豊中学校 教頭 石川 文男

令和3年1月18日(月)

特に工夫した取組

- ① 年度当初に、**検証・改善の年間予定を共有**
- ② **「芯の通った学校組織」推進プラン第3ステージ**
→ 抜粋ページを配布 → 全職員で研修
- ③ 検証するための**4点セットの様式を工夫**
→ **「達成状況の確認」欄に具体を予め設定**
- ④ **全体・チームの往還による検証・改善**

年度当初に、検証・改善の年間予定を共有

【目的】教職員に見通しを持たせる。
学校運営協議会の開催時期と連動させる。

共有した予定
年間5回(+必要に応じて)

- ①1学期中間テスト結果後
- ②1学期期末テスト結果後
- ③2学期中間テスト結果後
- ④2学期期末テスト結果後
- ⑤市学力調査結果後
- ⑥学年末テスト結果後



実際
(①は臨時休業の影響あり)

- ①5月14日(働き方改革のみ)
- ②8月5日
- ③10月31日
- ④12月23日
- ⑤2月10日(予定)
- ⑥3月17日(予定)

検証するための4点セットの様式を工夫

◇「達成状況の確認」欄に具体を予め設定

令和2年度 第3ステージ 学校評価の4点セット(学校自己評価報告書) 令和2年

いを表現することのできる生徒の育成

検証・改善【3】回目を終えて

取組指標	担当	実施率	取組指標に対する 取組状況の確認	達成指標に対する 達成状況の確認	達成指標・取組指標 の実現性を 検証																																																																																												
<p>○教科担任は、毎時間、「本時の流れ」のあて、「課題」「まとめ」「振り返り」を明らかにした授業を行う。</p> <p>○研究主任は、生徒が主体的に学習に取り組める「あて」「課題」のあり方、効果的な「振り返り」、「指導と評価の一体化」について、月1回校評研会を実施する。</p> <p>○教科担任は、達成指標の実現に向けた授業を実施する。</p>				<p>○学期初末テストにおいて</p> <p>- 単点7割以上の生徒90%以上</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>社会</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>英語</th> <th>平均</th> <th>合格率</th> </tr> <tr> <td>1年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○達成率%</td> </tr> </table> <p>○達成率%</p> <p>- 単点7割以上の生徒90%以上</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>社会</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>英語</th> <th>平均</th> <th>合格率</th> </tr> <tr> <td>1年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○達成率%</td> </tr> </table> <p>○達成率%</p> <p>○授業の最後に、その1時間の授業の学習内容を振り返ることができている、と肯定的に評価する生徒90%以上</p> <table border="1"> <tr> <td>1年</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○達成率%</p>		国語	社会	数学	理科	英語	平均	合格率	1年								2年								3年								平均							○達成率%		国語	社会	数学	理科	英語	平均	合格率	1年								2年								3年								平均							○達成率%	1年			2年			3年			平均			
	国語	社会	数学	理科	英語	平均	合格率																																																																																										
1年																																																																																																	
2年																																																																																																	
3年																																																																																																	
平均							○達成率%																																																																																										
	国語	社会	数学	理科	英語	平均	合格率																																																																																										
1年																																																																																																	
2年																																																																																																	
3年																																																																																																	
平均							○達成率%																																																																																										
1年																																																																																																	
2年																																																																																																	
3年																																																																																																	
平均																																																																																																	
○教科担任は、 達成指標 の実現に向けた授業を実施する。																																																																																																	
○保護者は、 達成指標 の実現に向けた授業を実施する。																																																																																																	
○学力向上委員会、 達成指標 の実現に向けた授業を実施する。																																																																																																	

①達成状況をどのように確認するのかを理解できる。

②毎回提示することで達成に向けての意識を高める。

全体・チームの往還による検証・改善(手順)

チーム

【事前作業】テストやアンケートの結果等をもとに、4点セットの「取組指標の実施率」「取組状況の確認」「達成状況の確認」の欄を各チームごとに入力

全体

20分

①事前作業で入力された状況を全員で確認
→各チームへ意見・要望 →検証・改善の視点を全体で確認

チーム

40分

②チーム毎に「検証・改善プロセス」に沿って検証・改善方策を作成 → 入力

チーム

③入力された結果を、教務主任、教頭、校長が点検
(必要に応じて指導・助言 →チームで再検討して入力)

全体

20分

④検証欄、改善方策欄まで入力された4点セットを全体で審議
→改善方策を確定 →共通理解 →取組を意識

全体

⑤改善方策を基に教務主任が新4点セット(左半分)を作成
→教頭・校長が最終確認 →全員に配布 →取組開始

職員会議

職員会議

チーム毎に別々の場所で、検証を行い、改善方策を作成

基礎的・基本的事項が
確実に身についた生徒
の育成チーム



読解力・表現力が
身についた生徒
の育成チーム



自己肯定感・コミュニケー
ション力を備えた生徒
の育成チーム



成果

- ① 年間の検証・改善の見通しを持つことができた。
- ② 「推進プラン」の趣旨や「4点セット」の策定過程とツールとしての機能を理解することができた。
- ③ 達成指標を意識しながら取り組むようになった。
- ④ チームリーダーの学校運営への参画意識が増した。
- ⑤ 個々の当事者意識が高まった。
- ⑥ 他チームの取組や提案に対する理解が深まった。

課題

- ① 全職員の取組に対する意識がそろうように、進捗状況の見える化を図る必要がある。
- ② 自己肯定感の向上、低学力層の底上げ等、本校の喫緊の課題については改善傾向が見られるが、改善を更に進める必要がある。
課題解決に向けた新しい取組を考えて、4点セットに反映させる必要がある。